



平成28年5月27日
第九管区海上保安本部
金沢海上保安部

7年ぶり！ 測量船が金沢港にやってくる！！ ～ 一般公開 6月11日(土)開催 ～

石川県能登半島海士埼北方海域で海洋調査を実施中の測量船「天洋」(430トン)が、金沢港に入港します。入港に併せ、測量船の仕事を地域のみなさまに紹介し、海洋調査業務への理解を深めていただけるよう、一般公開を行います。

測量船「天洋」の一般公開

海上保安庁では、船舶の安全航行に不可欠な海図の刊行を行っています。海図に記載された水深等の情報を最新のものにするため、測量船により海域の測量を実施しています。このような業務を理解していただくため、測量船「天洋」の一般公開を開催いたします。

- 1 日時 平成28年6月11日(土) 10:00～15:00(最終受付14:30)
- 2 場所 金沢港 無量寺3号岸壁
- 3 申込方法等
 - ・事前の申し込みは不要です。当日、直接お越しください。
 - ・船は急な階段や突起物があるため、動きやすい服装や履物でお越しください。
 - ・業務等の都合により、中止・変更となる場合があります。
- 4 海洋調査の概要

第九管区海上保安本部では、6月6日～22日の間、測量船「天洋」及び搭載艇により、能登半島海士埼北方海域の水路測量を実施します。この海域の水深データは、昭和9年に測量したもので、今回の調査では、最新の機器により高精度、高密度のデータを収集し、海図の最新維持を行うものです。併せて、同海域に流速計を取り付けたブイを設置し、潮流の観測も行います。

測量船「天洋」は、東日本大震災で被災した港湾の水路測量を優先的に実施していましたが、この度、7年ぶりに能登半島沿岸の測量に従事するものです。

5 測量船「天洋」の概要

- (1)総トン数 430 トン
- (2)主要寸法 56.0×9.8×5.0m (全長×幅×高さ)
- (3)船 長 伊藤 孝
- (4)主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水深水温計
超音波流速計

